

# 平成 29 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

## ●施設の概要

施設名	日光児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市日光町9丁目1番地3		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	14,398,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建のうち1階の一部 ◇敷地面積:3,001.55㎡ ◇延床面積:370.16㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、集会室、事務室、駐車場(日光コミュニティセンター駐車場と共有) ※日光コミュニティセンター、日光事務所との合築		

## ●利用状況

		H29下半年	H29上半期	H28下半年	H28上半期	H27下半年
利用者数 (単位:人)	来館者数	14,665	17,139	14,702	16,977	14,718
	移動児童館利用者数	919	915	977	765	989
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	15	15	14	14	12
	開館日数(単位:日)	151	157	149	157	151

## ●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長(常勤)、常勤職員2名(児童厚生員は所長を含め3名)。 ③「おたより」の発行・配布(小学校、幼稚園、保育所、中学校、特別支援学校)、「ベビータイム通信」の発行・配布・利用パンフレットの配布、児童センターホームページのこまめな更新。 ④苦情・クレームについてはマニュアルに従って対応。意見・アンケート調査結果は館内に掲示。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②就労促進事業施設清掃班による清掃を実施。 ③使用していない部屋の消灯、適性室温の設定等、節電を実施。廃品の再利用(リサイクル、リユース)に努めた。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については指定管理者(本部)並びに岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 ②消防訓練1回実施。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>【保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート】 平成30年3月 保護者(一般来館・クラブ参加)の115人にアンケート(無記名)を実施。 回答者数115人(100%) 【小・中・高校生用アンケート】 平成30年3月 来館した児童・生徒にアンケート(無記名)を実施。 回答者数52人(小学:1年1人、2年2人、3年10人、4年10人、5年3人、6年4人、 中学:1年11人、2年2人、3年3人、高校:1年2人、2年2人、フリーター2人)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>〈保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート〉 【校区】 早田(25%) 則武(20%) 城西(15%) 島(15%) 鷺山(10%) 無記入(15%) 【性別】 男(0%) 女(100%) 【年齢】 10代(1%) 20代(16%) 30代(70%) 40代(13%) 50代以上(0%) 【利用頻度】 初めて(2%) ほぼ毎日(1%) 週2~3回(9%) 週1回(18%) 2週間に1回(64%) 月1回(5%) その他(1%) 【来館相手】 子・孫(84%) 友人(4%) その他(0%) 未記入(12%) 【来館方法】 徒歩(13%) 自転車(3%) 自家用車(83%) その他(0%) 【何で知った】 ホームページ(37%) 広報紙・チラシ(14%) 学校(2%) 保育所・幼稚園(0%) 知人・友人(36%) その他(6%) 無記入(5%) 【評価】 (あいさつ)……満足(90%)、ほぼ満足(6%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい)……満足(91%)、ほぼ満足(4%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無記入(1%) (利用者対応)……満足(85%)、ほぼ満足(9%)、普通(3%)、やや不満(3%)、不満(0%) (利用しやすさ)……満足(85%)、ほぼ満足(9%)、普通(3%)、やや不満(3%)、不満(0%) (整理整頓)……満足(79%)、ほぼ満足(16%)、普通(3%)、やや不満(1%)、不満(0%)、無記入(1%) (清潔感)……満足(70%)、ほぼ満足(21%)、普通(9%)、やや不満(0%)、不満(0%) (換気)……満足(68%)、ほぼ満足(22%)、普通(9%)、やや不満(1%)、不満(0%)</p> <p>〈小・中・高校生用アンケート〉 【性別】 男(48%) 女(52%) 【学校名】 則武小学校(30.5%) 清流小学校(30.5%) 早田小学校(21%) 島小学校(4%) 附属小学校(2%) 羽島高校(4%) 岐阜聖徳学園附属高校(2%) 岐阜高専(2%) 18歳以下のフリーター(4%) 【学年】 小学:1年(2%)、2年(4%)、3年(19%)、4年(19%)、5年(6%)、6年(7%)、 中学:1年(21%)、2年(4%)、3年(6%)、高校:1年(4%)、2年(4%)、3年(0%) 18歳以下のフリーター(4%) 【利用頻度】 初めて(2%)、毎日(6%)、週4・5回(2%)、週2・3回(21%)、週1回(38%)、 その他(31%) 【来館相手】 ひとり(15%)、友人(77%)、父母(2%)、親戚(0%)、その他(6%) 【来館方法】 徒歩(27%)、自転車(65%)、自家用車(8%) 【好きな遊び】 バドミントン(29%)、ドッジボール(25%)、卓球(16%)、カラム(10%) ビリヤード(6%)、ボードゲーム(3.5%)、大型ブロック(3.5%)、レゴ(2%)、 その他(5%)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>・要望⇒回答</p> <p>・おもちゃを新しくして頂けると嬉しいです。(定期的に) ドレスを新しいものにそろえてほしい。 ⇒おもちゃは新しいものを多く増やしたので、ご利用ください。 ドレスは予算の都合上新しいものに揃えるのは難しいですが、検討して参ります。</p> <p>・会えば声をかけてくれるのは嬉しいですが、他市の支援センターでは先生も一緒に子どもと部屋で遊んでくれるので、そういう関わりがあると嬉しい。 ⇒児童センターではお家の方が幼児さんと一緒に遊ぶ場ですので、支援センターとは役割が違うところがあるかと思います。また声かけなどをさせていただきます。</p> <p>・軽食を食べられる場所、時間があると嬉しいです ⇒今年度から、一部条件付きで昼食可能にしましたので、ご利用ください。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		⑬リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価			A	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>□今年度から島小学校の移動児童館を実施した事で関係がより密になった。(10月・2月)          □初めてベビーリトミックを企画し開催出来た。初めての子どもさんが多く母親が真剣に取り組む姿が見られた。次回も参加したいと言う声が多かった。          □子育てサークルへ備品(消耗品)の貸し出しを行った。(手形スタンプ・バルーンなど)          □幼児・小学生用のおもちゃを購入し古い物を捨て、リニューアルし利用者に好評だった。館内環境を務めることにより清潔で、利用者の方が気持ちよく使えるようにした。          □子ども用キッチンをリニューアルしキッチンスペースを作った事で、子どもたちの遊びの幅が広がり、縦の繋がりが(幼児・小学生)や子どもたち同士で遊べる事が増えた。          □母親向け講座を開催した。母親たちはリラックス出来る時間を過ごせ喜んでいて。(ハンドトリートメント)          □「ご自由にお持ち下さいコーナー」の品物は就労促進支援の方、小学生・中学生・職員で廃品を利用して協力して製作している。利用者に好評だった。(10月～3月 2845個作成)          □おたよりの配布(小学校5、幼稚園・保育所8、中学校2、特別支援学校)・ベビータイム通信・パンフレット・行事ポスター掲示・ぶりがネット・ホームページ・移動児童館時など広報に務めた。          □諸団体との交流や、日光ふれあい保健センター・主任児童委員を通して、子育て支援に関する情報を得た。          □中学校の生徒指導主事、担任と気になる児童に関して、情報交流・対応について検討できた。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>「幼児クラブの回数を増やしてほしい」という意見があるが、可能な限り対応して頂きたい。          □出来る限り増やすという方向で取り組んでいるが、クラブの数が多いため平等に増やす事が難しい面もあるの          で検討中です。          「父親向けの子育て支援事業を今後積極的に取り入れて頂きたい。」          □土日の父親の利用が多いので、今年度は子ども・父親・母親参加の事業を取り入れて行こうと考えています。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>□土日・長期休暇の時に支援を必要とする児童の利用が多いので、今まで以上に学校との連携を密にしていく。          □学校や地域との関係を深め、お互い助け合うことで信頼関係を作り子どもたちの情報を共有するためにも、移動児童館に積極的に参加していく。          □母親が少しでもリラックス出来、自分に向き合える時間が出来、子育てを楽しく思える手助けになるよう母親向け講座を今年度も続けていく。          □土日の父親の利用が多い。子育てに積極的に参加されているのを感じる反面どう子どもに関わって良いのかわからない様子もみえる。お父さんと子どもの関係を深め、子育ての楽しさ大変さが伝わるような父親と子どもの支援事業を行いたい。          □幼児・児童の行事のマンネリ化を改善するため新しいメニューを考えていく。          □お弁当を食べたいという声があるので、昼食タイムを設け行ってみる。</p>

●所管課の意見

<p>○児童センターの「おたより」を地元の小・中学校、幼稚園・保育園、特別支援学校へ配布するとともに、児童センターが発行している「ベビータイム通信」への掲載、館内でのパンフレットや行事ポスターの掲示、ぶりがネット・ホームページ、移動児童館における直接広報など、広く児童センターの活動内容に関する情報を提供した。          ○移動児童館は上半期15回、下半期15回の計30回開催し、目標数値の24回／年を達成。          ○今期は、初の試みとしてベビーリトミックを企画したり、子ども用キッチン(おもちゃ)をリニューアルするなど、利用者の参加の機会や子どもの遊びの幅を広げる試みを行ない前年度より利用者が微増する結果となった。また、おもちゃを買い替えたことで、子どもたちが異年齢と遊ぶ機会が増えたことを評価したい。          ○台風の接近や降雪が続いたが、所管課との連絡調整による閉館・休館等の適切な対応と、利用者や学校への事前通知など自発的な安全対策により、利用者の安全を確保し、事故無く管理運営を行ったことを評価したい。          ○職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われている</p>
---

●指定管理者評価委員会の意見

<p>児童センターの利用者が講師となって行われるセミナーについて、利用者が企画に参加するだけでなく、主体的に活動する場を提供しており、素晴らしい事業である。          利用者の要望を多く聞き入れており、今後も利用者の声を反映した事業を展開し、更なるサービスの向上・利用促進に努めていただきたい。          管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
---